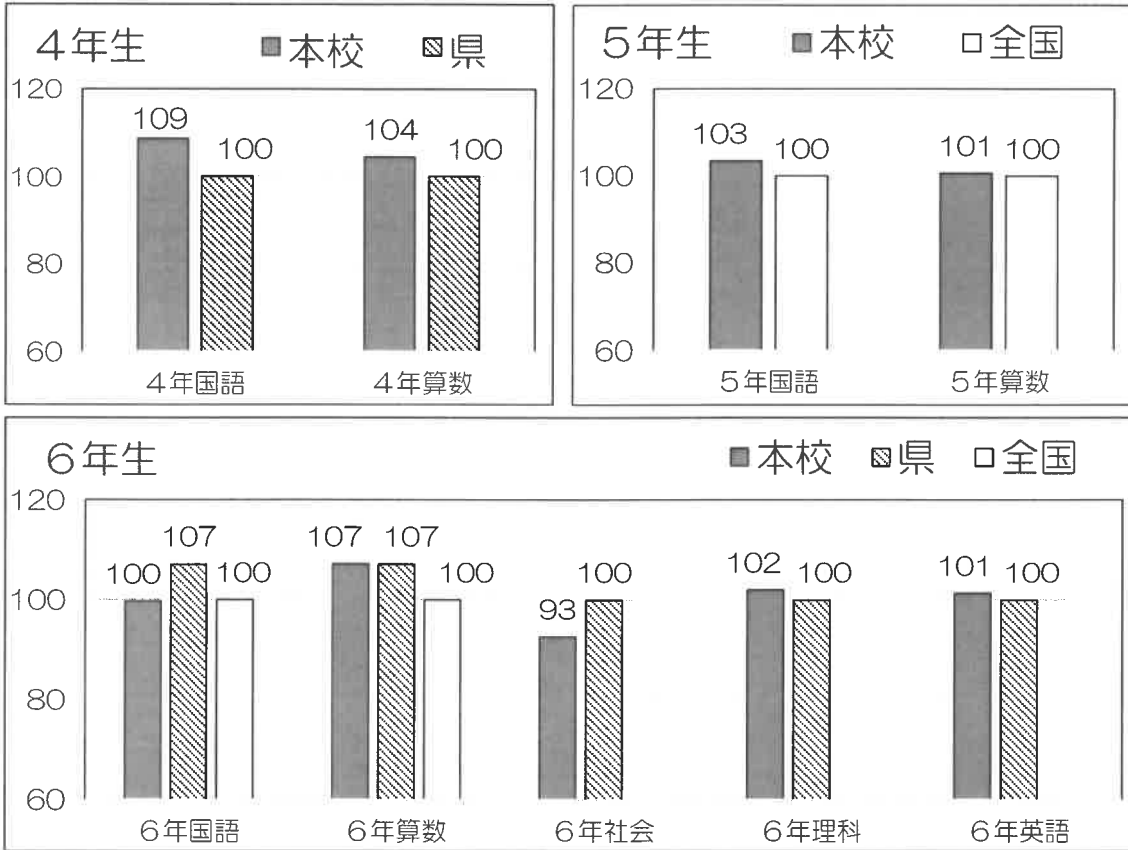


## 令和5年度4月実施学力調査結果報告（各教科）

4月に全国の6年生を対象にした全国学力・学習状況調査（国語・算数）と、4年生と6年生を対象にした石川県基礎学力調査（4年生：国語・算数、6年生：社会・理科・英語）、町独自に5年生を対象とした学力調査（国語・算数）の結果をお知らせします。グラフの縦軸の数値は、5年（国語、算数）6年（国語、算数）は全国平均、4年（国語、算数）6年（社会、理科、英語）は県平均を100とみたときの数値です。



[学力調査からみられる傾向]      ○強み      ▲弱み

- 国語科…○粘り強く、自分の考えを書こうとする意欲。（無回答率が低い）  
 ▲資料から必要な言葉を正確に読みとり、条件を満たして書く力。
- 算数科…○比例の特徴の理解。平面図形の名前と特徴の理解。  
 ▲題意や数量関係を正確にとらえて式化する力。
- 社会科…○地図記号の理解。日本の地形や世界地図上の赤道の位置の理解。  
 ▲問題に対して、複数の資料を基に考察し、適切に表現する力。
- 理 科…○昆虫やメダカの成長、川の上流下流の特徴等の基本的事項の理解。  
 ▲必要な用語を正しく用いて表現する力。

[今後の取組]

- ・キーワードや教科用語を正しくとらえているかを確認したり、根拠として用いて表現したりする指導をします。
- ・日々の授業での適用問題の取組を継続し、特に算数科では、単元ごとに適用問題を設定して取り組ませます。

学力・学習状況調査は、児童のもっている力の全てを表しているものではありません。しかし、現状を把握し、付けたい力、指導の改善策を考える貴重な材料となります。結果を分析し、有効に活用していきたいと思えます。